

議会基本問題調査特別委員会（第13回）

日 時 平成29年3月3日（金）

11：40～12：09

場 所 議会棟 第2会議室

出席者 委員長、副委員長、委員9名（欠席：なし）（傍聴者：1名）

説明員 なし

書 記 川上主任、岩崎事務局長

○坪倉委員長 皆様お疲れでございます。ただいまから、第13回の議会基本問題調査特別委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。前回の委員会で確認をいたしました通り、3月定例議会会期中に定数問題について結論を出すということでありました。今期定例会24日まで会期ありますけれども、本日特別委員会の日程を設定していただきましたので、ただいまから定数問題について議論をし結論を得ていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。現状維持とか定数減とか色々な皆さんから意見があると思えますけれども、できれば全員の合意が得られることがベストかと思えますけれども、最終的には多数決という手法も取らざるを得ないのかなと思っております。しかし、その前にしっかりと議論をすることができればと考えておりますので、前回も一定の発言を皆さんからいただきましたけれども、討論というよりも議員間討議という形で議論が深められればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。各委員からの発言を求めたいと思えます。山本委員。

○山本委員 前期、12人のままで選挙ということになりました。その時に色々な議論をしたわけでございますが、その時の私の考えは日南町の人口5,000人というところがありまして、5,000人を切った時には再度検討すべきではないかなと思っております。それともう一つは議会報告会で見た時にも、減らせというような意見は少なく現状維持の方がいいじゃないかという意見を沢山いただいておりますので、前回はその現状通りで12人ということで賛成をさせていただいたわけですが、この度アンケートをさせていただいたということと人口も5,000人を割ったという現状もあります。近隣の町村では日野町、江府町10人の委員でやっておられますし、そういうことを考えた時にアンケートの結果も58%は減らすべきではないかというアンケート結

果も出たということ踏まえまして、議員定数は私の考えでは10人に減らすべきではないかなと思っております。以上です。

○坪倉委員長 荒木委員。

○荒木委員 今、山本委員さんの方から発言がありましたが、私も近いような意見でございます。アンケート調査の結果もありますけれども、昨年の国勢調査の結果で10月時点で4,765人という数字が出ております。そうしますとあと本当に5、6年で4,000人前後というような人口になるのは、私は目に見えた現実というふうに捉えております。私はその現実を捉えた時点で考えるのが一番いいと思いますので、定数を10人と考えております。

○坪倉委員長 他に。久代委員。

○久代委員 私は前回のこの会でも申し上げましたが、先に定数を現状維持だと12人でやるべきだという考え方ですが、その根拠として今回僚委員から5,000人という一つの人口の基準が出されました。確かに議員定数はそれぞれ自由にそれぞれ市町村議会で決めればいいと条例が改正もされましたが、改正される前の自治法では一応上限額として人口2,000人以上5,000人未満の町村は14人となっています。近隣の町村、江府、日野町みても3,000人台ですよ。ですから今5,000人を切って、やがて人口も減るだろうという話もありましたが、将来の人口減少を想定してまで私は議員定数を考える必要はないと思うし、今現在の人口はどうかという実態に立ってやるべきだと思います。それと確かに今1人欠員にあって、前回無投票だったということから、非常にそういう住民の皆さんからも選挙をすべきだという意見もアンケートの中に示されておりますが、やっぱりその時々で候補者数、或いは選挙になるか無投票になるかは色々変化もするわけだし、多様な民意が反映されるという点、それから面積的にも日野町、江府町、旧溝口町、旧ですけれども。旧溝口町3町を合わせた程の広大な面積もあるわけで、一概に単純に人口だけであるべきではないと思うし、そういう点からみて本当に皆さんが立候補しやすい状況を作っていくためにも、現状維持で進めていくべきだと考えます。以上です。

○坪倉委員長 近藤委員。

○近藤委員 色々な考え方があって然るべきだと思います。自分もこの度アンケートの数字の点については、大変ショックを受けてそれなりに自分なりに考えたわけですけど。この数字の捉え方とこのアンケートの内容についての文面での回答とを切り

離して考えた時、その数字が半数以上が今現状では多いという意見ではありましたが、自分もこのことについて地元の方に色々相談をしたわけですが、多いと回答したという方からも意見を伺いました。そういった中で自分達の活動、今この日南町の議会がどのような活動をしているかということの説明することによって理解を得たわけですが、自分達の活動が十分町民に伝わっていないということがこのアンケートの文面としての形で出ていると思います。今同僚委員がおっしゃられましたけど、やはりより多くの方の意見を吸い上げて町政に反映するということが。また、自分達が判断は町民に委ねなければいけないわけですが、活動していることに皆さん方が活動されていることに大変に自分も関心しておりますし、自分もそれなりに頑張るという気しております。自分は12人で現状維持でこの日南町をより一層この文面に載っておることを反省しながら、これを解決するためには12人の方がいいではないか、現状維持の方がいいではないかと考えております。

○坪倉委員長　　大西委員。

○大西委員　　私はまだ議員として2年目で、実際にやってみて日数出てきて今までは外から目でみていましたけれども、やっぱり中に入れてみて、それから私入った時には全国表彰を受けた議会ということで、中身みますと大変日数も出たり、いろんな議会の中の話も初めて自体の中に入れて分かったわけですが。ただ残念なことというよりもアンケートでこういった結果が出ました。確かに各地域を回った時の意見は「いや現状、いや多い方がいいよ」とかいろんなのがありましたけれども、私もいろんな方に聞いてみました。やはりこのアンケートを出したこの数字というのはあくまでも参考ですけども、私は大変これ重要視するべきだと思っております。6割の方、58%の方が12人は多いよと言われております。それに対して私自身もまだ2年目ですけども、このことをものすごく私は重要視しております。アンケートとった結果6割の方が多いということについて、やはり住民の声を聞いた結果の数字がこれです。言葉でなしに数字が出たということですので、私は10人かなと思っております。以上です。

○坪倉委員長　　足羽委員。

○足羽委員　　私も同僚委員、大西さんと一緒なんですけれども、このアンケート調査ですね、やっぱりこの結果というのは非常に重要だと思います。以前は自分も今の定数12人でいいかなと最初は思っていましたけども、やっぱりこういったアンケート

調査と今現状11人でやっておる中で、何とか10人でもいけるんじゃないかと思っております。これが例えば8人だったらこれは無理だなというような気持ちではありますけれども10人だったらできるんだと私は思います。

○坪倉委員長 恵比奈委員。

○恵比奈委員 私は現状維持がいいと思います。理由については前回は申し上げましたけれども、一概に人口だけで定数は考えるべきではないということ。その理由としてやっぱり様々な立場の人の意見を汲み上げるためにも、口の数は沢山あった方がいいのでやはり12人は最低限必要ではないかと思えます。

○坪倉委員長 他の皆さんありませんでしょうか。発言された方に対する質問でもいいと思えますし、討議ができればと思えますが。福田委員。

○福田委員 皆さん方のこのアンケートを見てそういう話もありました。それからまたある委員は面積が広いということがありますが、面積が広いから人数を増やせば良いというものでもないと思います。私は今までやってきて、これで2期とも減であります。2期して現に6人と5人の委員会があつて、5人じゃいけんかったということは一つも感じません。私は。それから地域が広いから云々はそれは関係ないと思います。要は行けばいい、そこの土地に。行けばいいと思えますよ。それだったら私達この中でね、私は石見ですと。阿毘縁は何回行ったかということですよ。実際言えば。それは活動してないと言われればそれまでですけど、ほとんど誰も来とんなんと思えます地元には。よその地域には。ほとんど地元地元でしょ。今、地元というところはまち協が出来て、ほとんどまち協である程度の問題は解決できると思えますよ。あとは議員は執行部のチェック機能だけだと思う、本当。前は議員さんに世話になってあれ作ったこれ作った言うんですけど、今はまち協の方が強いんですからそういうことは。物事作っていったりすることは。だからもう人数が多いとか少ないじゃなしに、今は私は減にするべきだと思います。以上。

○坪倉委員長 重ねてでもいいですが、ありませんでしょうか。前回というか前々回から3月定例会には結論を出すということで、皆さんも町民との関わりの中で意見を聞かれたり、また様々な資料アンケート結果、議会報告会の時の住民の意見等を聞かれて、それぞれの議員が判断の方向性を決められてきたと思っております。先程の発言に繋がったと思っておりますけれども、他に発言がないようでしたら、ここで結論を得たいと思えますが。いかがでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○坪倉委員長 異議ありませんか。それでは先程の意見の中で、現状維持と10人という2つの意見に集約されたと思いますので、この2つについて多数決による採決を取りたいと思いますが。村上委員。

○村上委員 現状維持と下げるという2案で採決をされて、それから例えば現状維持ならそのままだと思うし。下げるという意見であるとするれば定数をなんぼにするかという議論をした方がいいじゃないかと思いますけど。

○坪倉委員長 はい、分りました。先程の議論を聞いておって、現状維持と10人という意見しかなかったので若干そういう捉え方をいたしましたけども、定数を減らすという事には2人もあれば1人もあり、4人もありということで、色々あろうかと思いますが。それでは最初に現状維持か定数を減らすか。この2つについて採決をしたいと思いますが。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○坪倉委員長 意義がないようでありますので、ただいまから採決に移りたいと思います。賛成の方は挙手で評決お願いします。最初に現状維持とすることに賛成の方の挙手を求めます。3人であります。念のために定数を減らすことに賛成の委員の挙手を求めます。7人あります。よって定数は減らすという事に決定をいたしました。ここで定数を1人減らすか、2人減らすか。何人減らすかということに移っていきたいと思いますけれども、この際発言がありますでしょうか。久代委員。

○久代委員 私は結論から言えば、何人減らすかということについては、議決に参加しません。あくまでも12人ということで否決された段階で。11人とか10人とかいうならその論拠も示して欲しいし。ただ私は現時点では反対の立場から、減員することに反対したわけであって、当然それに何人減らすことに賛成かという議案の採否には参加しませんからという事を申し上げておきます。

○坪倉委員長 他の皆さんの発言ありますでしょうか。荒木委員。

○荒木委員 人数後残り11人、1人減らすか2人減らすかという。町民の皆さんの意見もですし、他に他の町村の委員の方に例えば定数今10人でどのような状態であるかというのをこれが出てから何度か伺いましたが、特に足らなくてというような趣旨の発言はありませんでした。よって私は、最初に申し上げたように当然4,000人という人口を踏まえた上で、10人というのを提案したいと思います。

○坪倉委員長　他にありませんか。ないようではありますが、これまでの意見は10人、2人減らして10人にするという意見であります。これだけについて採決をしてよろしいでしょうか。他の意見はありませんか。それでは2人減らして10人にするについて、賛成の委員の挙手を求めます。8人（村上議長、福田副議長、足羽委員、古都委員、山本委員、大西委員、近藤委員、荒木委員）であります。そうしますと結論といたしまして、議員定数を2人減らして10人にするということで、この委員会として決定をいたしたいと思っております。異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○坪倉委員長　結論として議員定数の問題につきましては、次期一般選挙から議員定数を2人減らして10人にするという結論に決定をいたしました。約2年間この特別委員会を進めて参りまして、本日議員定数については結論を得ることができました。この他にも会議規則の改正ですとか、委員会条例の改正ですとか、色々な課題に取り組んで一定の成果をあげることができたと思っております。皆様方のご協力に感謝を申し上げます。という事で第1の議員定数については、以上を以て終わりたいと思っております。第2の議会報告会の検討課題の整理ということでお手元に資料も配布しております。基本的に前回の議論を踏まえて委員会での回答案というところが記載をしてありまして、ページ数打っていないんですけど、表紙の裏のページあたりがかなり空白になっております。ここで町民の皆様から議員定数に直接関わる意見をいただいております。このことについて本日の結論を踏まえて、記述をしていきたいと思っております。この項目的にはかなりのものがありますけれども、紙面のもう一つお手元に配布してあります。町民へ配布用の資料もお手元にあると思っておりますけれども、この紙面の都合も実際問題考慮する必要があるのかなと思ひまして、ある程度10数項目を整理した形で記述をしていきたいと思っております。記載内容、記述内容については、案として私に一任をいただきたいと思います。今期会期中に皆さんに目を通して意見をいただく機会を持ちたいと思っておりますので、ご了解を。そういう機会を持ちたいと、印刷・製本にかかる前に持ちたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○坪倉委員長　それとその他になりますけれども、先程も言いましたけれども約2年間この特別委員会を進めてきたわけでありまして、議会の活性化、議会の権能

發揮に向けて、町民の皆様から意見交換会やアンケート等でも多くの意見をいただいております。取り組むべき課題は色々あるかと思えますけれども、本委員会特別委員会について今定例会を持って閉じたいと考えていますけれども、皆さんの意見をお聞かせいただきたいと思えます。恵比奈委員。

○恵比奈委員　定数問題は結論が出たわけですが、前にも申し上げましたけれども定数が減になると余計に次のことを考えることが必要になると思えます。町民の意見をどのように議会に反映していくのかということ町民の意見交換会の中でもありましたけれども、本会議や委員会での発言の方法を考えると、そういったことをこれから取り組んでいくべきと考えますがいかがでしょうか。

○坪倉委員長　特別委員会を継続するという考えですね。他にありませんでしょうか。久代委員。

○久代委員　今同僚委員からありましたけれども、その定数問題だけじゃなくて議会のあり方も引き続き議論していく必要があると私も思います。名称基本問題という形でやるのか、一旦この会を閉じて別の議会の活性化のための特別委員会を設けるのか、そこはちょっと議論するところがあるけれども、やっぱり皆さんこのアンケートを踏まえて色々新たな課題も抱えた面もあるので、引き続き議会の改革或いは議会の活性化ということをテーマにした特別委員会は必要じゃないかなと思えますけれどもどうでしょうか。

○坪倉委員長　山本委員。

○山本委員　私はある程度この特別委員会の使命と言いますか、目的は達したのではないかと考えております。ただ、今後減になった時にどうするのかということは、全員協議会なりいろんな場を通じて協議をしていけば良いのではないかなと考えております。この特別委員会は一度閉じるべきではないかと考えております。以上です。

○坪倉委員長　他にありませんか。両方の意見が出ておりますけれども。久代委員も発言されましたが、一旦閉じても新たな目的視点での委員会の設立というのは可能だと思いますし、今期一旦今期定例会を持って閉じていきたいと思えますけれども、いかがですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○坪倉委員長　大勢の皆さんが今期閉じてもいいという事でありますので、閉じる方向で調整をしていきたいと思えます。ただし、お二方からも意見がありましたよう

に、議会の活性化、権能の発揮、町民との関わり等、本当にこれから町民に求められる議会のあり方というのは追求をしてい続ける必要があると思っておりますので、今後も色々な場面、全員協議会になるのか特別委員会になるのか分かりませんが、そういったところでの切磋琢磨、研究に検討は進めていく必要があろうかと思っております。そういう意味を伝えて今期を以て終了するという事で進めさせていただきたいと思っております。ついては最終日に特別委員会終了にあたって本会議へ報告する必要がありますが、その報告書については原案を作らせていただきたいと思いますので、一任をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。以上をもちまして第13回の特別委員会を終了いたします。先程言いましたように、24日までの会期中に再度特別委員会の機会を持ちたいと思っておりますので、今日は最後の終了ということではありませんので、13回の特別委員会の終了をいたします。ご協力ありがとうございました。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

委員長

副委員長